

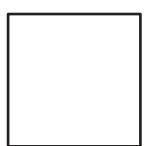
『ふりかえり もんだい9』

□の中に入るひらがなを、あとの（ ）の中か
らさがして書こう。

花が咲いてみができるのは、み

中に

できたねでなかま



ふやすためです。

たねができあがるまで、けもの

とり

と

などに食べられたり、雨がかかつてくさつたり
してはたいへんです。クリ



するどい

たべられ

るのをふせいでいるのです。

（ ）はをやへのにて（ ）

つぎの上のことばにつづくことばを下からさがして、
せんでもすぼう。ただし、おなじことばは一どしかつ
かえません。

① 日ひが

・はずむ

② うでが

・かなう

③ ねがいが

・すすむ

④ はなしが

・くれる

⑤ べんきょうが

・よむ

⑥ すきなほんを

・あがる

つぎのかん字とはんたいのいみのかん字を、下からさがして、せんでもすぼう。ただし、おなじことばは一どしかつかえません。

男
大きい
・
右
・下がる

多い
・
左
・女
・少ない

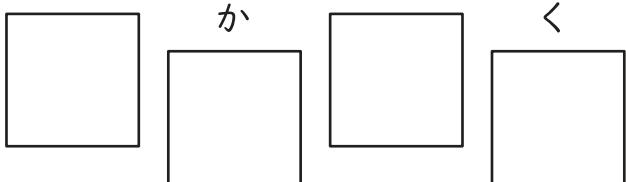
上がる
・
上
・小さい

ア
イ
ウ
エ
おわりました。
はじまるところです。
はじめましょう。
おわりません。

- ④ いいときにきた。いまからちょうど
③ いっしょうけんめいなのに、なかなか
② ずっと やつてていたので、すっかり

- ① よういができました。では、さっそく

つぎのことばにつづくことばをします。□の中にはアからウを書こう。ただし、おなじことばは一どしかつかえません。



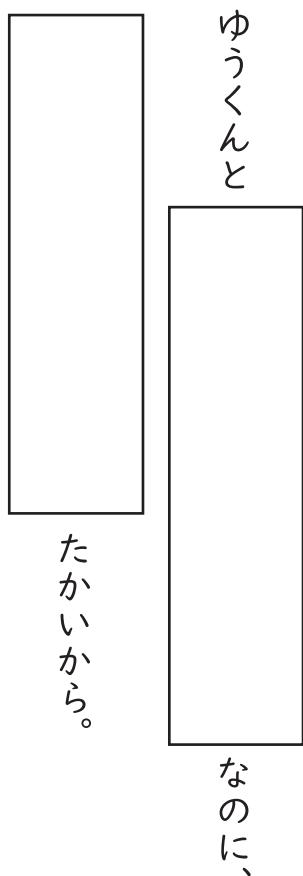
つぎの文しようをよんてどいに答えよう。

きのう、小学校のかえりみちで、しんちゃんが
いました。「すごいんだぞ。あいつ、うさぎを
三びきもかつてんだから。あしたの日よう日、つ
れてつてやるから、はじにバスていにこい。だれ
にもいうな。」ゆうくんは、しんちゃんのともだ
ちにあつたことがありません。でも、うさぎとき
いて、おもわず「行く。」といつてしまつたので
す。しんちゃんは、ゆうくんとおなじ一年生なの
にずっとせがたかく、まるでおにいさんみたいに
見えます。どこへだつてひとりで□出か
けることができます。そんなしんちゃんとふたり
だけでバスにのり、とおくまで行くのです。それ
はもううれしくて、あさごはんがすむと、おこづ
かいをぜんぶもつて家を飛び出してきました。そ
れなのに、しんちゃんはやつできません。やくそ
くのじかんから、もう一じかんがすぎました。ま
えのパンやさんのとけいが、□じをさしていま
す。ゆうくんは、しんぱいになつてきました。

（一）一せん①「あいつ」とありますか。だれのこと
をいっているのですか。アからウからえらぼう。

ア しんちゃん
イ ゆうくん
ウ しんちゃんのともだち

（2）一せん②「まるでおにいさんみたいに見えます」とあります
が、しんちゃんのどんなところがおにい
さんのようにかんじられるのですか。□の中に入
ることばを書こう。



(3) □の中には、次のアからエのどのことばが入りますか。た正しいものをえらぼう。

- | | |
|---------|---------|
| ア おどろいて | イ さつさと |
| ウ こつそり | エ おもいきり |

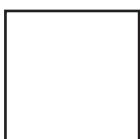
(5) もういちど、一せん③「うれしくて」とあります
が、ゆうくんがうれしくってたまらないでいることは、
ゆうくんのどんなようすからわかりますか。□の中に
書こう。

(4) 一せん③「うれしくて」とあります、ゆ
うくんがいちばんうれしかったのは、どんなこと
ですか。アからウからえらぼう。

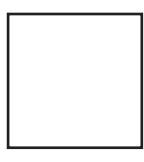
ア しんちゃんのともだちにあえること。

イ うさぎを三びきも見にいけること。

ウ しんちゃんとふたりだけでバスにのつて
出かけること。



(6) □の中には、あるすうじ(じかん)が入ります。
た正しいすうじをかんがえて書こう。



じ

つぎの文しようをよんてどいに答えよう。

ピッチはおそるおそるあいつにちかづくと、おもいきつて言つてみた。「きみきみ、どうしてまだここにいるんだい。」すると、「ああ。」と、あいつはつぶやいた。ピッチはもう一どゆうきをだして、「いつたいきみはだれなんだい。どんなにんげんなの。」ときいた。「ああ、ぼくはにんげんじやがないんだよ、かかしさ。」あいつは、げんきなくこたえた。「かかし？」そのとき、あいつの目からぽちつとなみだがこぼれた。かかしはしずかにはなしはじめた。「ぼくはにんげんにつくられたのさ。そしてきみたちを、おいちらすやくめをいいつかつたんだ。だけどあきのおわりになると、にんげんはようのなくなつたぼくをおいてつたのさ。それからさむい がきて、ほんとうの一人ぼっちになつてしまつたんだよ。ぼくはうごけないのさ。ほんとうはきみたちからすがうらやましかつたんだ。」ピッチはかかしのはなしをきいてびっくりした。「そうなのか。」ピッチは、なんだかかしがかわいそうになつて

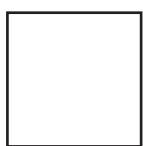
そして、かかしのためになにかしてあげたいとおもうようになつた。「それじゃあ、きみはいまどうしたいんだい？」すると、かかしは「ぼくはとびたいんだ！」ピッチからはなしをきいて、なかもたちもかかしのところへあつまつてきた。

(1) —せん① 「ピッチ」とありますか、ピッチとはなんですか。アからイからえらぼう。

ア にんげん
イ かかし

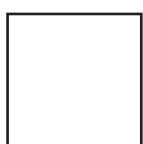
(2) —せん② 「おそるおそる」とありますが、ピッチのどんなようすをあらわしていますか。アからウからえらぼう。

ア みつからないようにこつそりちかづくようす
イ こわいきもちをおさえながらちかづくようす
ウ こわいかおをしてちかづくようす



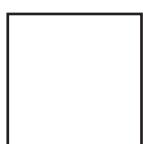
(3) ピッヂは、「あいつ」のことを、はじめはなんだとおもっていましたか。アからイからえらぼう。

ア にんげん
イ かかし



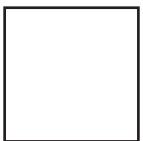
(4) 一せん③「ここ」とありますか、どこのことですか。アからエからえらぼう。

ア たんぼの中
ウ 川の中
イ 森の中
エ いえのまえ



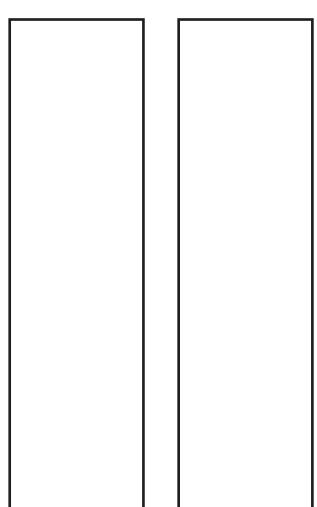
(5) 「あいつ」は、なにを、どうするやくめをもつていましたか。□の中に入ることばを書こう。

ア はる イ なつ ウ あき エ ふゆ



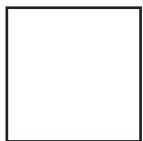
(6) 一せん④「ようのなくなつた」とありますが、おなじいみのことばを、アからウからえらぼう。

ア こわれてしまつた
イ よごれてしまつた
ウ いらなくなつた



やくめをもつている。

(7) □にあてはまるきせつをアからエからえらぼう。



(8) 一せん⑤ 「ピッヂは、なんだかかしがかいそうになつてきた」とあります。が、ピッヂはどうしてかかしがかわいそうになつてきたのですか。□の中に入ることばを書こう。

な
ど、

よ
うのな
くなつた

は

か
ら。

(9)
にあ
てはま
ることばを、アからエからえらぼう。

ア もうたのしくはなかつた。
イ もうこわくはなかつた。
ウ もうしかたないとおもつた。
エ もうおこつとはいなかつた。

